

新保健センター等建設費を含む 一般会計補正予算ほか10議案を可決



※新保健センター完成イメージ

新保健センターは、手狭で老朽化した現在の保健センターにかわり、平成27年度に市役所隣接地に完成予定です。快適な受診環境を整備することで、健康診断や各種検診の受診率の向上が期待されるほか、市の保健サービスの拠点として、健康増進、母子保健事業等の充実が図られます。

また、市民活動サポートセンターや、災害などの緊急時における危機管理の拠点としての庁舎機能をあわせ持つ複合施設となります。

6月定例会は、6月2日から始まり、6月19日まで18日間の会期で開かれました。

市長から、新保健センター等の建設費などを盛り込んだ一般会計補正予算ほか、消防署北分署の高規格救急自動車の更新整備、現在建設中の（仮称）学校給食センターの厨房備品等の購入に係る契約など、議案８件、諮問２件、承認１件が提出され、それぞれ原案どおり可決しました。

一般質問は、１０人の議員が行い、市の諸問題について見解を求めました。

議会の動き

6月2日 ◎開会 ○承認第1号並びに諮問第1号及び第2号 説明・質疑・討論・採決 ○議案第1号から第8号まで 説明 6月5日 ○一般質問（4人） 6月6日 ○一般質問（3人） 6月9日 ○一般質問（3人） ○議案第1号から第8号まで 質疑・委員会付託	6月11日 ◇文教厚生常任委員会 6月12日 ◇総務建設常任委員会 6月18日 ◇議会改革特別委員会 6月19日 ○議案第1号から第8号まで 委員長報告・質疑・討論・採決 ○農業委員会委員の推薦について ◎閉会
---	---

6 月定例会の議案と議決結果

総務＝総務建設常任委員会 文教＝文教厚生常任委員会 予算＝予算審査特別委員会

全=賛成全員 多=賛成多数 否=賛成少数 継=閉会中の継続審査

○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席

【継】＝前定例会以前からの継続案件

※鈴木英吉議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	件 名			平	一	郎	一	枝	郎	治	夫	子	夫	勝	文	康	子	優	好	吉	子		
市長提出議案																							
承認第 1 号	専決処分の承認を求めることについて	－	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	－	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
諮問第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	－	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 1 号	富里市税条例等の一部を改正する条例の制定について	総務	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	16	1
議案第 2 号	富里市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	総務	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	16	1
議案第 3 号	富里市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 4 号	財産の取得について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 5 号	財産の取得について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 6 号	平成 2 6 年度富里市一般会計補正予算（第 1 号）	総務 文教	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	－	○	16	1
議案第 7 号	平成 2 6 年度富里市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 8 号	平成 2 6 年度富里市水道事業会計補正予算（第 1 号）	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0

議 案 の 内 容

6 月定例会

承認 1	国等の上位法令が改正されたことにより、緊急を要したため、条例の一部改正について専決処分したことの承認を求めるもの	議案 5	高規格救急自動車の更新整備に係る指名競争入札を行った結果、相手方などが決定したため、契約を締結しようとするもの
諮問 1～2	人権擁護委員の飯塚徳政氏、森田恵子氏が任期満了となるため、再度両氏を推薦することに議会の意見を求めるもの	議案 6	歳入歳出それぞれ8億983万4千円を増額し、総額を158億1,283万4千円とするもの
議案 1～3	国等の上位法令が改正されたことにより、条例の改正を行うもの	議案 7	歳入歳出それぞれ32万9千円を増額し、総額を23億6,198万3千円とするもの
議案 4	(仮称)富里市学校給食センター厨房備品等の購入に係る指名競争入札を行った結果、相手方が決定したため、契約を締結しようとするもの	議案 8	資本的支出の建設改良費を3,456万円増額するもの

常任委員会の 審査から

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会は、付託された議案六件について、慎重に審査を行いました。主な議案について御報告いたします。

議案第一号、富里市税条例等の一部を改正する条例の制定について、法人市民税の法人税割の一部を地方交付税の原資とするため、税率を二・六％引き下げるものとこのだが、市内の法人数について質疑があり、平成26年3月末で一、二四三社、うち資本金一億円超は一四〇社との説明でした。これにより法人市民税は平成27年度で約二二〇〇万円、28年度以降は、約五、五〇〇万円の減収を見込んでいるとのことだが地方交付税で補填されるのかとの質疑に、詳細に制度が通知されていないとの説明でした。軽自動車税の見直しにより約六〇〇万円の増収が見込まれるとのことだが、今後普通車からの乗りかえ予想はとの質疑があり、軽自動車の登録が年々ふえており、前年度と比較し、約五八〇台ふえているとの説明でした。

議案第六号、平成26年度富里市一般会計補正予算（第一号）について、本庁舎耐震補強工事の増額について資材、労務単価の急騰により、入札不調とのことだが、以前から県内でも相次いでいることは報道されていたが対応できなかったのかとの質疑があり、結果的に不調となったとの説明でした。

慎重に審査した結果、付託された全ての議案は、可決しました。

（委員長 佐藤 繁夫）

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は、付託された議案三件について、慎重に審査を行いました。主な議案について御報告いたします。

議案第四号、財産の取得については、（仮称）富里市学校給食センター厨房備品等の購

入契約の締結です。食器の材質についての質疑に、ペン樹脂製の物を採用し、以前の物と比べ、洗浄能力が高く、漂白系の洗剤も使用できるため、色の付着等にも有効と考えているとの説明でした。

議案第六号、平成26年度富里市一般会計補正予算（第一号）について、臨時福祉給付金給付事業の対象者への通知についての質疑に、文書による通知のほか、広報や民生委員を通じてのお知らせや未申請の方の状況の確認に努力したいとの説明でした。

子育て世帯臨時給付金事業で、申請書の発送時期を児童手当の現況届と合わせてできなかったのかとの質疑に、対象者は、非課税世帯で、この事業の対象にならない方もいらつしやるので、今回の児童手当の現況届受付時に、個別に説明をさせていたかどうかとの説明でした。

昨今、公共事業入札の不調が多い、本予算の新保健センター等建設事業の積算は、諸費用の上昇を加味しているのかとの質疑に、国の労務単価を含め、最新の実勢単価で積算しているとの説明でした。

慎重に審査した結果、付託された全ての議案は、可決しました。

（委員長 大川原 きみ子）

一般質問

質のる
文自にす
本者稿の
※問原も

通告項目

猪狩一郎

- (1)防犯灯について
- (2)日吉台地区の崖崩れの対応と避難時の犬猫等の扱いについて
- (3)ウオーキング事業について
- (4)ふれあいミーティングについて
- (5)執務時間外の対応について
- (6)高齢者の生涯学習について
- (7)小・中学校児童・生徒の通学の安全対策について

大川原きみ子

- (1)本格的な人口減少社会になった最大の要因である少子化問題について

- (2)高齢者支援について
- (3)市民生活に密着した交通網の整備について
- (4)富里市道〇一〇〇八号線開通による安全対策と通学路について

井上 康

- (1)教育について
- (2)谷津の自然環境保全について
- (3)救命救急について

高橋益枝

- (1)AEDについて
- (2)手話奉仕員養成講座について
- (3)教育について

布川好夫

- (1)防犯灯のLED推進について
- (2)集会所補助メニューについて
- (3)小規模住宅開発について
- (4)道路行政について

五十嵐博文

- (1)二〇二五年問題について
- (2)健康増進について
- (3)都市公園について

岡野耕平

- (1)スイカロードレース大会について
- (2)市の活性化について
- (3)公共工事について

高橋祐子

- (1)子宮頸がんとHPVワクチン接種について
- (2)パーク・グラウンド・ターゲットパードゴルフについて
- (3)学校給食センター第一調理場の跡地利用について
- (4)災害対策について

柏崎のり子

- (1)教育について
- (2)健康増進計画について
- (3)生活保護について
- (4)福祉について

窪田 優

- (1)駐輪場の適正管理について

猪狩一郎

問 防犯灯設置・改善についての対応は



答 必要な場所に設置・改善を図ってまいります

問 県道一〇六号線七栄のリスランテタカノからラディソンホテルまでの道路の対応を伺います。

答 防犯灯を設置している箇所を樹木等が覆っているところもあるので、適正な管理をしていただくよう管理者にお願いしてまいります。

問 樹木の伐採をお願いしていただきたい。

答 管理者をお願いしていきます。

問 日吉台バス通りの対応について。

答 日吉台バス通りは、主要道路となりますので、夜間における犯罪防止と通行の安全を図るため、必要な場所に防犯灯を設置してまいります。

『日吉台の崖崩れの対応について』

問 民有地の崖崩れで市民が毎日不安な生活を強いられているが、市としての対応を伺います。

答 二次災害を防止するために、土砂の撤去や大型土のう等の設置などの対策を講じており、災害発生箇所が民有地であることから所有者と連絡をとって対応をお願いしており、引き続き、所有者に適切な対応と適正な管理をお願いしてまいります。

『ウオーキング事業について』

問 健康増進・地域活性化を目指してウオーキング道路の整備とモデルコースを設定すべきと考えるが、市としての考えは。

答 モデルコースについては、市民の健康づくりや地域活動を考える上で有効なもの、と考えており、今後、自然豊かな富里の特性を生かしながら、環境整備について検討してまいります。

大川原きみ子

問 人口減少最大の要因である少子化問題について



答 空港周辺市町一体の取り組みでと考えています

問 日本創成会議人口減少問題検討分科会で、二〇四〇年に八九六自治体が出産期にある二〇歳〜三九歳の女性が半数以下になり、その自治体は出生率が上がっても人口流出等の影響で、消滅可能性都市と定義された。市は人口五万二、〇八七人から二〇四〇年は三万九、一三一人、二〇歳〜三九歳の女性は六、五六〇人から三、四七五人となり四七・〇％の減少です。消滅可能性都市は五〇％以上ですから非常に厳しい現実です。市の将来に向け緊張感と緊迫感を持って取り組んでいただきたく、お考えをお伺いします。

答 この問題は深刻と考えます。国は全面的に支援すると話されたが政策の実施に当たっては選択がなされます。富里のすぐ隣には宝である国際空港があります。これを活用することで人口減少の歯止めとなると考えます。近隣市町が一つとなり取り組んでいくことと考えていますので、努力してまいります。

『交通網の整備について』

問 申し込み先電話番号記載のデマンド交通登録カードの配布について。

答 書き込み用時刻表をお渡ししています。

さらなる利便性に資するよう登録カードの取り組みを検討してまいります。



井上 康

問 教育相談の体制は十分ですか



答 学校への訪問相談を取り入れ充実を図ります

問 教育相談の現場から届いた報告はどのように共有され、活用されますか。

答 相談内容は関係者で共有され、庁内他部門とも連携し、継続して対応します。

問 谷津の自然環境保全について、環境基本計画に照らして成果は。

答 農地・水・保全管理事業で水路の草刈りなど支援しています。

問 この交付金事業の対象外の場所で荒廃した土地が多くあります。生物多様性維持の意味からも、地権者と市と市民活動団体等の協働で保全する仕組みを市はサポートすべきでは。

答 難しい面がありますが、適正な方法であれば支援します。

問 『救命救急の現状について』

問 救急搬送の現状は。

答 平成25年に救急車等が搬送したのは、八三七人、現場到着まで平均九分、医師への引き渡しまで平均五〇分です。重症患者の搬送における所要時間は全国平均と同程度です。

問 救急車が現場に着くまでの間に、現場にいた人がAEDや心肺蘇生を実施したか否かが生死を分けると言われます。

答 多くの市民に救急法とAEDの操作を知っていただくようにすべきでは。

問 普及啓発に取り組んでいきます。

問 市の職員は全員、救急法を習っておくべきです。市民が多数訪れる窓口や保健センター等には、受け入れ側としての責任があり、安全への配慮が必要です。

答 在職職員の一七八名が受講経験者です。今後は新規採用職員研修に組み込みます。

高橋益枝

問 AEDの無料貸し出しについて



答 検討を進めてまいります

問 AEDの無料貸し出しについて。

答 無料貸し出しについては、郡内では九市町のうち三市町が実施しています。

問 AEDは市内に民間も含めて何台あり、消防署には何台か。また、貸し出しはしていますか。

答 公共施設に二一台、民間に二一台あり、消防署には全自動が三台、救急車には半自動が三台あります。貸し出しはしていません。

問 なるべく早く、暑さが来る前に考えられないでしょうか。

答 できるだけ早めに調整させていただきます。

問 『手話奉仕員養成講座について』

問 県内で実施している市町村は何力所あるか。

答 県内五四市町村のうち実施しているのは三九市町村です。

問 広域でとのことですが、どういう調整をしているのか。

答 来年度の実施に向けて調整中ですので、予算編成の時期までには方向性を出したいと考えています。

問 『教育について』

問 ふれあい教室の充実についてですが、現在何人くらい通われているのか。

答 平成26年度は、中学生五名が、ほぼ毎日欠席もなく通級しています。

問 「学校いじめ防止基本方針」の中の、いじめ対策相談員はどのような方か。

答 ふれあいセンターの学校指導専門員を充てています。

布川好夫

問 防犯灯のLED推進について



答 耐久性・省エネ・維持管理に効果があります

問 市所有と地域所有の現状について。

答 市では、現在約一、八〇〇灯のうち、二四五灯を設置しています。各区・自治会等では、約三、五〇〇灯で、そのうち二〇〇灯がLED防犯灯です。

問 今後の推進計画について。

答 防犯灯のLED化は、蛍光灯と比べてエネルギー効率と耐久性にすぐれ、省エネと維持管理経費の節減に効果があります。既に防犯灯をLED化している自治体の導入法を参考に、推進方法を検討いたします。

問 LED防犯灯の補助金について。

答 平成24年度から、各区・自治会に対して防犯灯のLED化を推進しています。

問 年間、新規五灯、器具の取りかえ五灯とあります。区や自治会では、補助金を活用して二〇灯を四年で推進できるところや、一五〇灯を三〇年では大きな差異があります。新規や器具のかえを、関係なく補助の対象を考えると、区や自治会の世帯数や所有する防犯灯数で、補助の灯数を考え、計画的に推進できる補助金制度を検討するべきと考えます。

問 区や自治会の灯数に応じた補助灯数の見直しについて、来年度に向け検討します。



明るい防犯灯のLED推進を

五十嵐博文

問 二〇二五年問題に危機感を持ち、総合的準備を



答 各課を挙げて取り組んでいきます

問 厚生労働省は地域包括ケアシステムの構築を目指す、二〇二五年までのロードマップが必要ではないか。

答 一〇年先を見通した中で策定します。

問 家族・親族・地域等の間で生まれる互助が重要。互助はコミュニティの再生につながるから、協働のまちづくりの連携により進めるべきでは。

答 協働の観点から、情報を共有し推進を図っていきます。

問 『健康増進について』

問 ロコモティブシンドローム生活者意識調査・国民生活基礎調査では、要介護・要支援の要因で、運動器の障害が最も多いと公表。3月に健康増進計画を策定したが、基本チェックリストとの連携は。

答 結果を分析し、対応を検討します。

問 運動器症候群予防は、さまざまな連携から予防策を見出せるが。

答 農業関連でも医療福祉という言葉があります。可能であれば連携します。

問 運動過多・過少の二極化が進行し、児童生徒の運動器の発育発達に障害と懸念されている。学校保健からも手薄であったのでは。

答 総合的に判断すると、若干薄かったと感じております。

問 学校保健委員会が設置されているが、年一回の開催が多い。運動器に関し、議論されるべき課題だが、実態をどのように受けとめているか。

答 議員御指摘どおりです。有機的に動く配慮をします。

岡野耕平

問 スイカロードレース大会の今後について



答 よりきめ細かな大会運営に努めてまいります

問 本年の参加予定者と来場人数は。

答 一万三、〇〇〇人の予定です。来場者数は把握していません。

問 東京マラソンでは特別枠を設けているようだが、どのように生かしているか。

答 スポンサー枠を提供しています。

問 特別枠を福祉に生かしては。

答 実行委員会の運営なので、別の予算への充当は難しいです。

問 ボランティア団体や人数は。

答 競技役員は一、七〇〇名程度で、そのうちボランティアは一、二〇〇名ほどです。団体数は把握していません。

問 緑豊かな農住都市を感じていただくにはどのように意識しておられるか。

答 沿道の整備に一〇〇万円を予定しています。

問 来場者の滞在時間の延長対策は。

答 安心・安全な大会運営と早期な交通開放を考え、実行委員会としては難しいです。

問 うまいものマップ等を配布しては。

答 四年ほど前にランナー等への特典等を記載して配布したが定着していません。

問 『成田空港の活用について』

問 朝のカoffee延長について。

答 騒音問題で苦しんでいる人々がいるので、富里市の立場としては言えません。

問 『公共工事について』

問 給食センター建設に当たり市内事業所は、何社かわわっているか。

答 一社です。

問 総合評価方式の活用は。

答 現在は活用していません。

高橋祐子

問 日吉台小と北中にLPガスを備蓄すべき



答 全ての場所に備えるよう検討します

問 災害時、日吉台地区の都市ガス供給がストップした場合に備え、市の避難所である日吉台小と北中には災害時有効なLPガスを備蓄し万一に備えるべきでは。
答 できるよう考えて、北中と言わず全ての場所に備えるよう検討します。
『給食センター第一調理場の跡地利用について』

問 具体的な計画はありますか。

答 今はまだないが、葉山保育園の機能拡充を含め最も効果的な活用方法を検討していきます。

問 今ある施設の有効活用、課題解決、保育行政の充実、財源の観点から一体的に考えることが必要。子育て支援センターを現保健センターに移すことで保育行政の充実が図られ、跡地の一部売却で財源が確保され危険な隣接交差点の改良工事が可能となると考えるが、検討を。
答 検討します。

『パーク・グラウンド・ターゲットパーク・ゴルフ場の設置について』

問 近隣にはこれらゴルフ場があるのに、富里市には何もない。多くの市民が市外に出ていつて楽しんでるのが現状。年齢を問わず気軽に楽しめる競技で、機会と場所を提供することも自治体の責務と考えるが、市所有の一五町歩を暫定的に有効利用するなど考えられませんか。
答 生涯スポーツの充実が地域貢献にもつながると思います。法令等の検証もしていきたいと思います。

柏崎のり子

問 国の教育委員会改悪で教育の自主性は保てるか



答 職務権限は同じであり、自主性は変わりません

問 国の教育委員会改悪は、教育を国や首長の支配下に置こうとするものです。世論調査でも七五％の国民が政治の介入に歯どめが必要だとの結果が出ています。政治的介入に対し有識者、教育団体なども声を上げています。教育の独立性、自主性が保たれるとお考えですか。
答 職務権限は現行と同じであり自主性は保たれるものと考えます。

問 現憲法のもとで政治の果たす責任は教育条件整備、その営みの充実を支えることが本来の役割と考える。市長の見解は。
答 これまでも教育委員会と相談し進めてきたので私は変わりません。
『就学援助制度の費目拡充を』

問 国の示す支給費目は一三あり、本市は九費目の支給ですが拡充を求めます。国からの交付税配分の試算を示してください。
答 交付税総額に対する試算額は小学校二〇二万四、〇〇〇円、中学校一七七万円です。

問 国は財源配分を少なくし市町村の裁量任せですが八街市は国が新たに加えた三費目を支給とのこと。クラブ活動、生徒会費等一步でも前進させるべき。
答 八街市を注目し今後検証します。

問 就学援助のお知らせは入学時だけでは周知にならない。実態に即した対応と文面も申請しやすく子供の心に寄り添った内容に改善すべきと考えます。
答 子供への視点が欠けていたと思います。対象者も増加傾向にあり指摘事項は速やかに対応します。

窪田 優

問 駐輪場の放置自転車にルールはありますか



答 ルール化は必要、来年度に向けて整備します

問 日吉台の自転車駐車場の放置自転車についてですが、自転車の防犯登録は「自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律」で義務づけられています。登録されている車両か否かは確認していますか。
答 確認していません。

問 公の場所に個人の所有物を許可も得ずに長期間占有させない防止条例は必要と考えます。駐輪場の有料化、サイクルラックの導入は検討に値しませんか。
答 スペースが狭いので駐輪台数の確保という点から設置は考えていません。

問 サイクルラックは上下二段式もあります。現在、管理はシルバー人材センターの方に平日毎日、朝六時半から八時半まで任せています。年間の経費は。
答 約八三万円です。

問 車社会からエコロジー化で自転車需要は高くなると思います。将来の需要予測と適正管理、費用徴収も視野に、設備投資によって得られる収益というものもあると思いますが。
答 有料化ということも考えれば十分協議をしていかなければならないことになるので条例化に向けて検討していきたいと思っています。



日吉台第1自転車駐車場

議員表彰

在職 15 年以上として表彰

栗原 恒治 議員

長年にわたり市政の振興に努められました功績により、全国市議会議長会から表彰され、6月2日の本会議場において表彰状が伝達されました。

議会を傍聴しませんか

9月定例会は9月1日(月)から開会予定です。

※詳しい日程などは議会事務局にお問い合わせください。

※本会議の様様は市役所本庁舎市民課前ロビー(市庁舎一階)のテレビや日吉台出張所のモニター、インターネット(ライブ・録画)でもごらんいただくことができます。

※本会議の録画映像は、当該本会議の会議録が作成されるまでの間(おおむね2カ月)、市議会ホームページに掲載しています。



市民課前ロビーで



日吉台出張所で



インターネットは録画でも

ご意見・ご感想をお寄せください！

議会報を読んで感じたことなど、皆様のご意見をお待ちしております。また、議会報は市議会ホームページでもご覧いただくことができます。

〒286-0292 富里市七栄 652-1 議会事務局

TEL. 0476-93-6492 FAX. 0476-91-3595

富里市議会ホームページアドレス

<http://www.city.tomisato.lg.jp/category/2-3-0-0-0.html>

編集後記

四年に一度のサッカー・ワールドカップ。連日の熱い戦い観戦で寝不足ぎみの毎日を過ごされた方も多いと思います。

ブラジルから一転、ここ日本も暑い日が続きます。熱中症には十分気を付けていただきたいと思います。高齢化につれて、室内にいてもかかる方がふえているそうです。ために水分を補給しエアコンを上手に活用ください。

さて今回の6月定例会は3月議会の予算審査、9月議会の決算審査の中間で、補正予算審査が例年主な議案となっています。今回議案は補正予算審査に加え、条例制定が三件、財産の取得が二件等の構成となっています。

二〇一一年の改選から三年が経過し、来年はまた市民の皆様から評価をいただく年となります。議会がどのように機能し、市長と議員は何を主張しているのか、本紙面やインターネット中継などを通して、さらに関心を持っていただけるよう、編集委員一同取り組んでまいります。

(委員 井上 康記)